

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 2026年度(令和8年)事業計画

総括

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 会長 増田 詩織

本会の会員は医療施設で勤務する臨床検査技師を中心に構成されており、現在その数は4,200名を超えています。新型コロナウイルス感染症による社会活動の制限が緩和され、本会の事業もコロナ禍以前の活動状況に戻つつあります。一方で、会員が所属する多くの医療施設においては、診療面ならびに経営面の双方で依然として厳しい状況が続いています。

本会では、今後さらに進行する高齢化・少子化・人口減少社会を見据え、臨床検査の品質及び精度を持続的に維持・向上させることを目的として、会員の卒後教育の充実、医療施設への情報提供、ならびに府民を対象とした健康推進活動を積極的に展開してまいります。

2021年度以降、Webを活用したオンライン形式による会議、セミナー、講演会の開催が定着しました。理事会や事務局・事業局の各部会においても、Web会議システムを併用した情報共有を進めてきましたが、2025年度には対面形式の事業開催を基本とし、例年どおりの講演会等を開催することができました。また、他団体との共催による府民参加型講習会や新年互礼会についても、感染対策に配慮した上で対面形式により実施することができました。

公益事業として、府民を対象とした渉外部担当の府民公開講座や各種フォーラム(他団体との共催を含む)、各種疾患予防啓発活動、がん検診啓発活動を実施するとともに、地域貢献の一環として各自治体が主催する健康展への参加を推進しました。また日本臨床衛生検査技師会(日臨技)とタイアップして全国「検査と健康展」をあべのハルカスで開催し、延べ2,400名以上の府民にご参加いただき健康推進活動を行いました。また府内の臨床検査技師養成校の学生を対象に教育セミナーを開催し、将来の臨床検査技師の養成に尽力しました。

2026年度においても、生涯教育を通じて府民の健康に寄与する公益事業として、学術部による各種研修会、チーム医療推進事業、精度管理部によるデータ標準化事業を引き続き推進し、会員の多様なニーズに応じてまいります。さらに、組織部が担当する地域ニューリーダー育成講習会をはじめとした組織力向上のための事業や、地区関連事業を積極的に開催します。また、本年は当会の法人設立40周年、技師会創立75周年の記念事業を開催し、さらなる臨床検査技師の資質向上と府民への貢献に向け活動を進めます。

2027年の新年互礼会では、行政及び関係団体との連携を一層強化し、地域医療推進協議会関連団体と協力することで、大阪府民の健康増進に寄与してまいります。

以上の方針のもと、2026年度(令和8年度)事業計画及び収支予算について、理事会の承認を経てここにご報告申し上げます。

■ 事業分類

公1事業(公1)

府民に対して健康に関係する体験学習、公開講座等を開催し、府民が健康に関する知識を習得することにより公衆衛生の向上に寄与する事業

公2事業(公2)

臨床検査の学術研究及び研修会等を開催することにより医療技術者の資質向上に寄与する事業

公3事業(公3)

臨床検査の精度管理・データ標準化を目的とする指導事業

他1事業(他1)

会員の相互扶助等事業

I 基本計画

公益法人としての事業を積極的に進める。

1. 府民を対象にした府民の健康増進に寄与する公開講座やイベント事業の推進(公1)
府民健康フォーラム、大臨技・大放技合同フォーラム、看護の日、市民健康展、がん検診啓発活動、その他の公益事業を行う。
2. チーム医療の推進に貢献できる事業の開催(公2)
栄養サポート、院内感染防止、糖尿病療養指導、その他、多職種がチームで医療を行う公益事業を行う。
3. 臨床検査技師の知識・技術の向上を目指す専門的な研修会の開催(公2、他1)
新人技師、中堅技師、管理職技師に役に立つ研修や情報の提供を行い、学術技能の研鑽をする事業を行う。
4. 精度保証事業(データ標準化を含む)の推進(公3)
日臨技とタイアップして大阪府下の検査施設の精度保証事業を進める。
5. 臨床検査技師による臨床検査の説明・相談ができる環境を支援する。(公2)
6. 卒前教育と卒後教育の橋渡しの事業(公2)
教育機関の教員の方々と連携して大臨技教育セミナー等の事業を行う。

II 事務局

1. 総務庶務部
 - 1) 組織運営の充実(他1、法人管理)
 - (1) 定款、諸規程等の管理
 - (2) 総会の開催及び議決権行使サイトの管理
 - (3) 理事会及び各種委員会の開催
 - (4) 各種表彰の充実
 - (5) 各教育機関との連携
 - 2) 事務体制の強化(他1、法人管理)
 - (1) 会員管理システムの充実
 - (2) 大臨技会員証の管理
 - (3) 大臨技登録学生の管理
 - (4) 大阪府への各種報告
 - 3) 府民ならびに関連団体との交流の推進

- (1)府民への情報公開(他1、法人管理)
- (2)他団体との情報共有(公1～3、法人管理)
- (3)大阪府地域医療推進協議会への参画(他1、法人管理)
- (4)新年互礼会の開催及び運営(他1)
- (5)法人設立40周年・技師会創立75周年記念事業の開催及び運営(公2)

2. 広報編集部

- 1)会員への広報の充実(他1)
 - (1)大臨技ニュースの発行
 - (2)大臨技ホームページの更新
 - (3)月間行事予定表の作成
 - (4)大臨技行事スケジュールの管理

III 財務局

1. 財務管理の充実(他1、法人管理)

IV 事業局

1. 学術部

- 1)公益事業としての部門別研修会及び講演会を開催するとともに、これらの事業を円滑に実施するため、部会会議を開催(公1～3)
- 2)他の事業部が企画する事業に対し、企画立案及び運営に係る協力(公1～3)
- 3)他団体(大阪府診療放射線技師会、大阪府薬剤師会、大阪府栄養士会、大阪府看護協会等)との学術交流活動に協力し、企画への参画及び講師の推薦等(公1)
- 4)学会の企画及び運営を行う(公2)
 - (1)第9回大臨技医学検査学会の開催

2. 組織部

- 1)オープンセミナーの開催(中央地区)(公2)
- 2)大臨技教育セミナー(府下教育機関と共同事業)の開催(公2)
- 3)施設連絡責任者会の開催(公2)
- 4)検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会の開催(公2)
- 5)地域ニューリーダー育成講習会の開催(公2)
- 6)各市健康展・健康まつり(吹田市・摂津市・富田林市)への参加(公1)
- 7)新入会員研修会(他1)

新入会員及び未入会者を対象に、技師会活動や臨床検査技師としての理解を深める研修会の開催

3. 渉外部

1) 府民参加型健康啓発事業の開催(公1)

(1) 他団体との共催事業: 講演会の開催

① 大臨技・大放技合同フォーラム

公益社団法人 大阪府診療放射線技師会との共催

② 府民健康フォーラム

一般社団法人 大阪府薬剤師会、公益社団法人 大阪府栄養士会との3団体共催

(2) 他団体事業への参加

① 看護の日イベント

看護の日～ハートフル大阪21～実行委員会主催「看護の日・看護週間」事業に参加し、チーム医療で関わる臨床検査技師と臨床検査について紹介

② リレー・フォー・ライフ・ジャパン大阪あさひ

公益財団法人 日本対がん協会主催事業で、がん患者支援活動を通して臨床検査技師の役割を紹介

(3) 啓発活動

① 大臨技がんフォーラム: 「がん」に関する講演会の開催

② 疾患予防セミナー: 特定の疾患についての講演会の開催

(4) 全国「検査と健康展」(一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会主催)への参加

臨床検査の体験を通して臨床検査及び臨床検査技師の役割を紹介

2) ろう者に対する理解と協力(公2)

ろう者に対する理解を深め、コミュニケーションに必要な手話を学ぶ手話講習会の開催

3) 献血推進への協力(他1)

輸血用血液製剤の確保が困難な夏季と冬季に、街頭での献血推進活動

4. 精度管理部

1) 臨床検査データ標準化サーベイ(公3)

新鮮血を試料としたサーベイを実施することにより、施設間差是正を推進するとともに、精度保証に貢献

2) 精度管理、基本統計に関する研修会(公2)

精度管理、統計学的手法に関する正しい知識、技術を習得する研修会の開催

2026年度収支予算書

2026年 4月 1日 から 2027年 3月31日まで

(公社)大阪府臨床検査技師会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	30,000	3,000	27,000
会費収益	25,060,000	25,600,000	△ 540,000
事業収益	6,617,000	7,268,000	△ 651,000
受取補助金等	1,000,000	1,000,000	-
雑収益	1,760,000	1,790,000	△ 30,000
経常収益計	34,467,000	35,661,000	△ 1,194,000
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	4,552,500	5,062,500	△ 510,000
福利厚生費	825,000	900,000	△ 75,000
旅費交通費	2,985,000	2,731,000	254,000
会議費	200,000	2,293,000	△ 2,093,000
通信運搬費	1,507,727	1,402,000	105,727
消耗品費	2,837,000	1,928,000	909,000
印刷製本費	181,000	899,000	△ 718,000
光熱水費	175,000	175,000	-
会場費	10,285,000	5,325,000	4,960,000
諸謝金	6,708,000	3,931,000	2,777,000
広報費	506,000	409,000	97,000
賃借料	2,742,000	3,111,000	△ 369,000
支払負担金	50,000	300,000	△ 250,000
減価償却費	650,000	550,000	100,000
支払手数料	149,000	151,000	△ 2,000
支払保険料	20,000	5,000	15,000
雑費	137,000	284,000	△ 147,000
管理費			
給料手当	1,517,500	1,687,500	△ 170,000
福利厚生費	275,000	300,000	△ 25,000
旅費交通費	327,000	343,000	△ 16,000
会議費	375,000	465,000	△ 90,000
通信運搬費	333,273	316,000	17,273
消耗品費	450,000	450,000	-
印刷製本費	325,000	327,000	△ 2,000
光熱水費	75,000	75,000	-
会場費	75,000	70,000	5,000
諸謝金	976,000	612,000	364,000
広報費	240,000	80,000	160,000
賃借料	834,000	993,000	-159,000
支払手数料	5,000	56,000	△ 51,000
雑費	616,000	430,000	186,000
経常費用計	40,934,000	35,661,000	5,273,000
当期経常増減額	△ 6,467,000	-	△ 6,467,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	-	-	-
(2) 経常外費用	-	-	-
当期経常外増減額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	△ 6,467,000	-	△ 6,467,000
一般正味財産期首残高	35,561,393	30,870,225	4,691,168
一般正味財産期末残高	29,094,393	30,870,225	△ 1,775,832
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	-	-	-
指定正味財産期末残高	-	-	-
III 正味財産期末残高	29,094,393	30,870,225	△ 1,775,832

